

問題【理科】

大きさが 60 m^3 の部屋で気温と湿度を測定すると、気温は 25°C 、湿度は 60% でした。下の表を参考にして考えましょう。

- この部屋の空気には全体で何 g の水蒸気が含まれているでしょうか？
- この部屋の気温が 5°C まで下がると、部屋全体で何 g の水滴ができるでしょうか？

気温 ($^\circ\text{C}$)	5	10	15	20	25	30
飽和水蒸気量 (g/m^3)	6.8	9.4	12.8	17.3	23.0	30.4

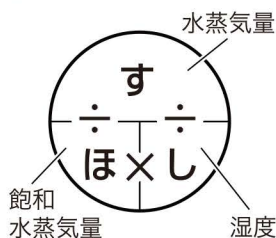
豆知識 雑学コラム

問題文はヒントの宝庫

いよいよ中3生の試験シーズンに入ってきました。校舎の生徒たちも志望校合格目指して奮闘中です！ 私自身、必ず笑って合格発表の日を迎えるんだという想いを胸に抱きつつ書いている今回のコラムのテーマは「受験生に必ず知っておいてほしいこと」です。

では上の問題を解説していきます。これは天気単元の湿度を計算していく問題です。受験生の中には苦手な子も多くいるのではないのでしょうか？

湿度の公式は「す・ほ・し」
⇒「す」は水蒸気量、「ほ」は飽和水蒸気量、「し」は湿度です。



求めたい水蒸気量というのは、公式に当てはめると、飽和水蒸気量 \times 湿度で求められます。

25°C の飽和水蒸気量は表より 23.0 g 、湿度は 60% ですので、計算する時は 0.6 。 $23 \times 0.6 = 13.8$ 。よって答えは 13.8 g …と、答えてしまうと不正解になります!!! 答えは 828 g 。全然ちがいますが、その理由はわかりますか？

実はその答えは問題文の一番最初にあるのです。今回求めた 13.8 g というのは、空気 1 m^3 あたりの量なのです。問題文の最初に「大きさが 60 m^3 の部屋」とあるので、 60 倍しないといけません！ $13.8 \times 60 = 828$ 。よって答えが導かれました。めでたしめでたし♪ で、終わらせてはいけないのです!!

この問題を例として、受験生の皆さんに伝えたいことは、「問題文の中に無駄な情報はない！」ということです。わざわざ書いてある部屋の大きさ。これは問題が皆さんにヒントを囁（ささや）いているのです！ 「この数字、問題を解くときに使ってね」と。

試験の問題というのはよく読んでいくと、いろんな事を教えてくれているヒントの宝庫です。生徒の中にはあまり問題を読まずに答えを出していく人もいますが、それは絶対にダメですよ…。

ただ、この囁きに気づくためにはたくさん問題を解きこみ実践練習を積むことが大切です！ 螢雪ゼミナールでは、この時期の中3生に対して行う「プレ入試」と呼ばれる実践形式のテストゼミで、最後の最後までパワーアップをさせていきます。こうして頑張る生徒こそ、試験でのミスがなくなります。そして、その先には勝利の女神からの「おめでとう」の囁きを聞くことができるのだと思います！ 頑張れ受験生!!